

生活科改訂のポイント

参照：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
平成29年度新特別支援学校幼稚園教育要領
特別支援学校小学部・中学部学習指導要領説明会

○ 目標の改訂の要点

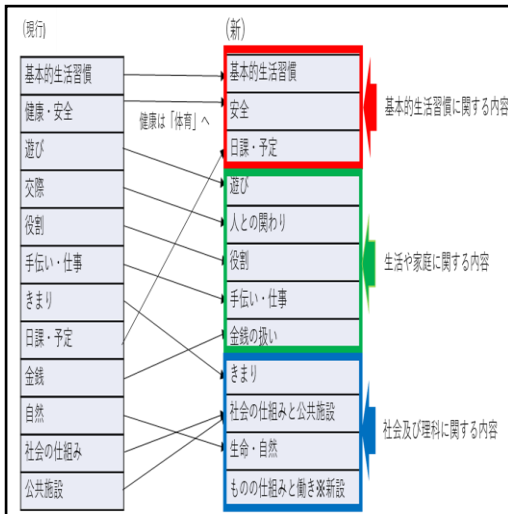
児童が生活に必要な基本的な知識や技能及び態度を、**生活経験を積み重ねて着実に身に付けていくことが基本**にあり、更に**自らの生活を豊かにしていこうとする資質・能力**とすることを明確にした。
目標において、小学校の生活科では「身近な生活」、小学部の生活科では「生活」と文言の違いがあり、小学部の生活科はより「**身近な生活**」を少し広げる意味で「**生活に関わる見方・考え方を生かし**」ということ整理している。

○ 内容の改訂の要点

小学部体育科との内容、中学部社会科及び理科との内容のつながりを踏まえて整理してある。

○ 指導計画の作成と内容の取扱いの要点

各教科等との関連を図り、指導の効果を高めるとともに、中学部の社会科や理科及び職業・家庭科の学習を見据え、系統的・発展的に指導できることを示している。
内容の取り扱いについては、日々の日課に即して、実際の指導ができることや具体的な活動や体験を通して多様な学習活動を行うことなどについて示している。



小学部の生活科について

「期間集中型」

公共の施設や買い物、調理など活用場面も含めた単元構成

「通年型」(週1回)

「基本的生活習慣」に関することなど、学習したことを日々の家庭生活及び学校生活など活用場面が多いもの

より家庭生活などの様々な場面での「汎用」を目指した授業構成

- ・児童自身が取り組む意味を考える
- ・良さへの気づき
- ・試行錯誤を経て技能の獲得

単元設定の理由

自立や働く生活

持ち物の管理

整理整頓

手伝い

役割

衣服の片付けなど身の回りの整理

畳む技能に加えて、整理整頓する良さに気づき習慣や態度の育成につなげる

児童の実態

小学部2組 3年生3人 4年生3人
(男子5人 女子1人)

- 着替えた後に衣服を**畳む一連の流れ**
- 衣服やタオルなど身近なものを**大まかに畳む技能**

- 技能はあるにもかかわらず、衣服をカゴやカバンに**畳まずに片付けてしまう**
- 整理整頓の**良さへの気づきが弱い**
- 家庭では衣服を畳んだり片付けたりの**手伝いの機会が少ない**

- 動画**や目の前での**実践**へ興味を持って注目
- 自分の考えを**言葉で説明**できる児童は少ない
- 正しい方や好きな方を**選択**や**行動**での表現、友だちなどを見て**真似**ることができる

単元の目標

- 衣服の畳み方や仕分け方が分かる **【知識・技能】**
- 衣服を畳んだり、仕分けたりする良さに気づく **【思考・判断・表現】**
- 衣服を畳んだり、仕分けたりすることに自ら取り組もうとする **【主体的に学習に取り組む態度】**

授業づくりの工夫点

授業展開

- ① 前時の振り返り
- ② 課題の動画を見る
- ③ 感じた考えを発表する
- ④ 正解の動画を見る
- ⑤ 衣服を畳む
- ⑥ 引き出しに仕分ける
- ⑦ まとめ

思い・考えの表出

「にっこり」や「がっかり」などの感情の言葉を選択肢に設けた。
選択した理由などを文字に起こし視角化した。



キーワード

手順やポイントなどをキーワードにして伝えた。



たたんで
わける

発表の順番

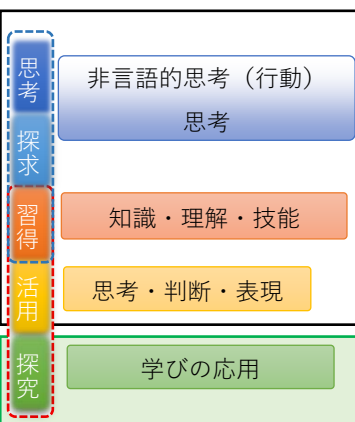
友だちの考えを模倣したり参考にしたりしやすいよう、発表の順番はモデルとなる児童から行うようにした。



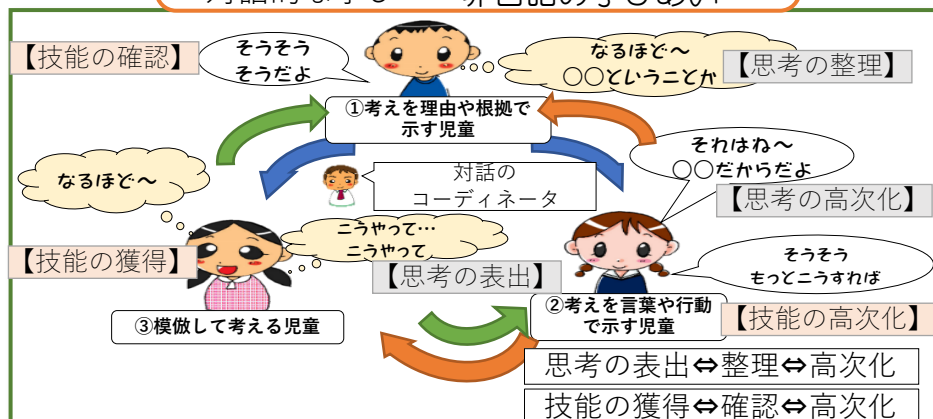
実践から見えてきたこと

わくわく学べる授業のストーリー

- 0 前時の振り返り **評価と賞賛から授業をはじめよう**【学びをつなげる】
- 本時のめあて ~課題提示~ **「できそう」を大切に**【学習意欲の向上】
- 2 考える時間 ~一人で・みんなで~ **「やってみよう」「失敗しても大丈夫」**【自らの考え】【友だちの考え】
- 3 考えの検証 **「なるほど!できた!」を実感する**【達成感】【自己・他者評価】
- 4 課題の追加 **「できた」だけ「これはどうかな?」**【学習意欲の向上】
- 5 考える時間 ~一人で・みんなで~
- 6 考えの検証
- 7 本時の振り返り **評価と賞賛で出来たことを確認**【学びをつなげる】【達成感】【自己評価】

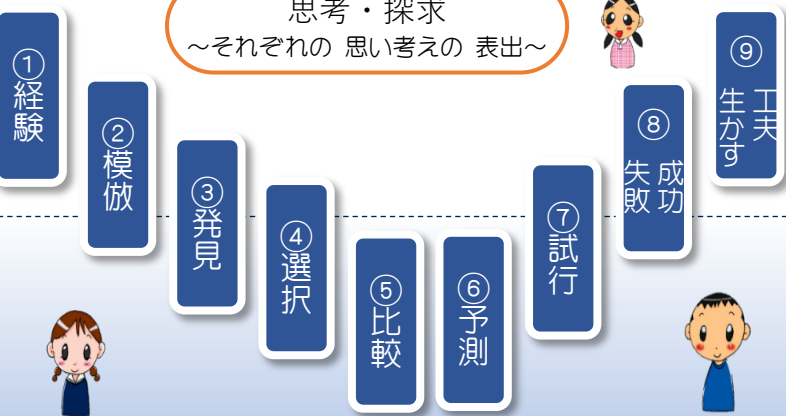


対話的な学び ~非言語の学びあい~



非言語的思考 (行動)

思考・探求
~それぞれの 思い考えの 表出~



授業のアイテム

